

GEOWATER

SUMIDA PARK RECYCLE

K99065 谷田 智洋

PROJECT

現在の隅田公園は活気なく、あまりいい環境ではない
地中に埋もれているもの GEOWATER空間、地下鉄の駅(銀座線浅草駅)を開放する
そして有効活用する
浅草寺・仲見世方面にある大きな人の動線を隅田公園方面に分割する
このことによって隅田公園を再生する

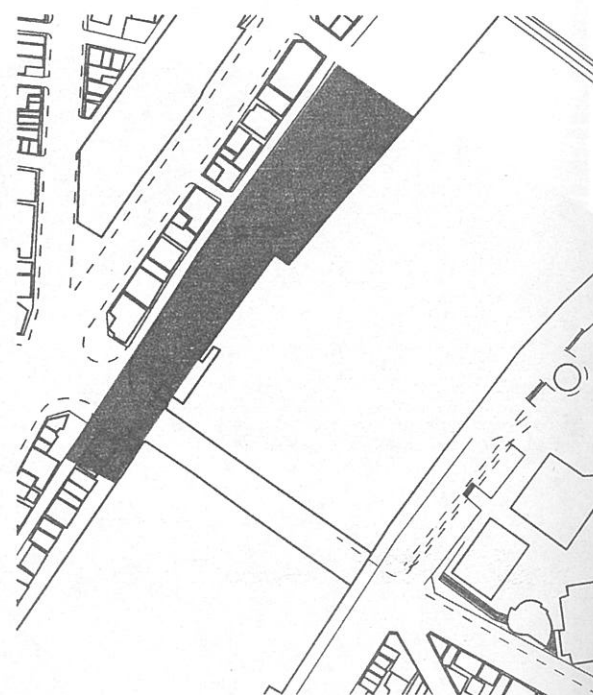
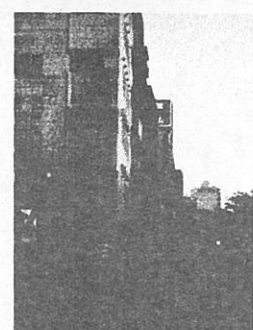
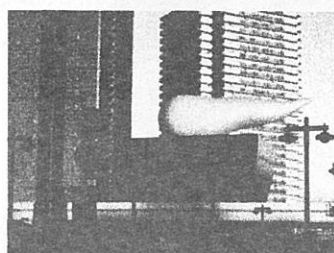


敷地の現状

SITE

台東区立隅田公園

浅草は「観音様」の愛称で親しまれる浅草寺を中心に、江戸時代から栄えた門前町であり、東京の下町を代表する観光地である。仲見世に並ぶ江戸情緒あふれる店や、界隈に点在する老舗飲食店は賑わいの中に、庶民的な魅力があふれる街でもある。敷地対岸にはアサヒスーパー・ライオン・アサヒビル吾妻橋ビルなど都市のオフィスのような建築が存在する場所でもある。現状としては、公園内施設の老朽化、公園に無秩序に面した建物など公園内の雰囲気を変える要素がたくさんあるこれらを改善することによって、隅田公園を再生していく



SITE S=1:5000

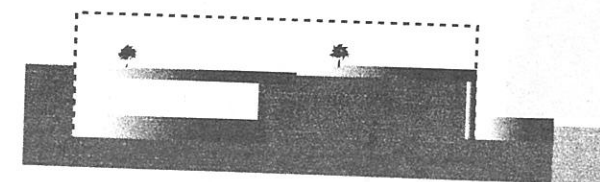
FUNCTION

既存	問題点	足される機能
ギャラリー	天井が低い・ギャラリーとしての機能が低いので区でも 園路としてしか扱ってない このため効率的な利用がされていない	ワークスペース スタジオ
銀座駅	バリアフリー施設の不足 老朽化 暗いイメージ 活気ない 公園方面にダイレクトにつながる出口が必要	バリアフリー施設 新しい出口・新しい動線
水上バスターミナル	老朽化 待合室がなく、乗客過多時、施設外にあふれてしまう 乗降スペースが危険	待合室・乗降場 新しい出口
公園	全体的に汚らしいという雰囲気を持つ テラス部分が特に汚い	GEOWATER空間
新設	商業施設 多目的ホール オフィス/SOHOできるもの	

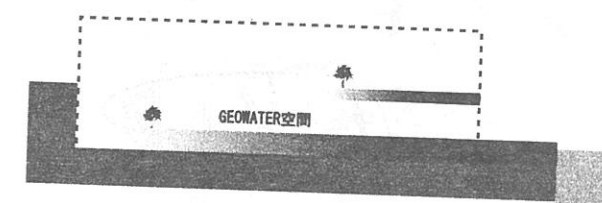
CONCEPT

GEOWATER

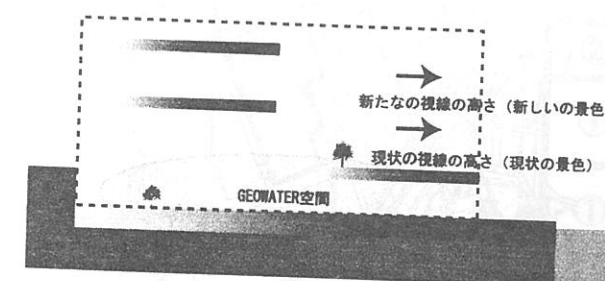
この敷地にはG.L.のずれが生じる 隅田川沿いのテラス部分と公園のG.L.のずれの空間はWATERFRONTとGEOFRONTがともに存在する場所である この空間をGEOWATER(WATERFRONT-GEOFRONT)と認識する
現在この空間は土やRCコアによって閉ざされている
まずこの空間を開放してやる必要がある
そして有効活用する
このことによってこの空間はよみがえり、光と緑あふれる空間を形成することとなる



地下空間を開放してやる
既存公園の緑を地下空間に



新たな高さを与える

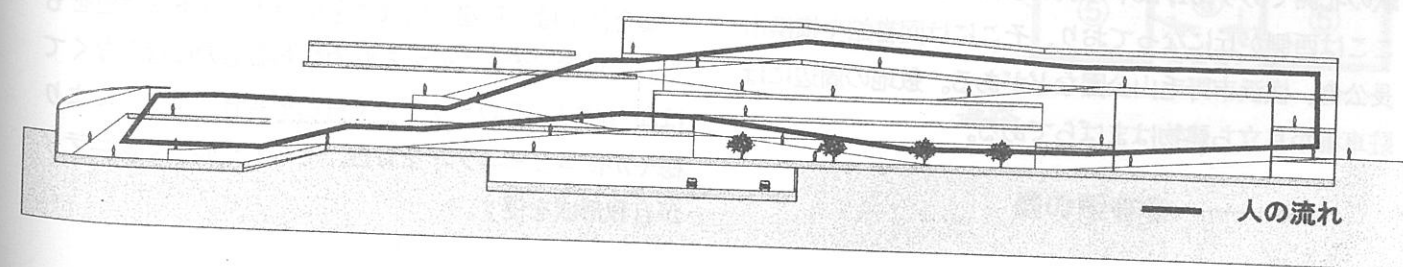


記憶

ボリュームを配置することにより、今ある環境、雰囲気は全く別のものになってしまう しかし、少しでも今までの隅田公園の要素をこの場所に残すことはできないかと考える この場所に訪れる人の記憶に残るものそれはここから見える風景ではないだろうか そこでその風景を残すために既存公園G.L.の高さを変えないで計画する
またいくつかの新たな視線の高さを与えることで、訪れる人は新しい風景を記憶する

動線計画

主動線は、スロープで構成される 全体の動線は循環する
スロープ・レベル差を埋めるための一つの動線手段 バリアフリーの一つの手段と認識されるがこの計画においては開放感を与える手段・視線の変化の手段としても利用する
また銀座線浅草駅においてバリアフリー施設の不足というのは大きな問題である そこでプラットフォームから地上まで無理なく、移動できる動線をこの計画する建物の動線に組み込むことによって、少しは解決されるだろう



指導教員名 伊藤 洋子教授